

「ふわふわちゃん」誕生から8年！



「ふわふわちゃん」の誕生日は・・・？

デザインの考案者は、当時琴浦中学校2年生の三宅真由さんです。

推進委員会からのマスコットキャラクターの募集に応募してくださった7名の作品の中から最優秀賞に輝き、平成28年10月18日に表彰式を行いました。同時に、当時1年生の浅越百々花さんの作品も優秀賞として選定されました。



名付けは、1年後の平成29年11月1日。

琴浦中学校区の4小学校の子どもたちから名前を募集し、合計33名が「ふわふわちゃん」と命名してくれました。

当時琴浦西小学校2年生の三宅輝直さんを、名付け児童代表として表彰させていただきました。

優秀賞として選定された浅越さんのキャラクターにも、事務局が「ハーティー」と命名しました。



「ふわふわちゃん」と「ハーティー」がデザインされた啓発用のぼり旗



【人権だより「ことうら」第40号】



【人権だより「ことうら」第42号】



人権
だより
第52号

ことうら

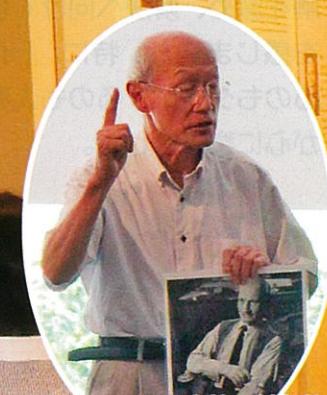


中学校区テーマ 人権をたいせつにしあう明るい地域—琴浦—

重点課題 元気で明るい子どもを育てよう

令和
6年度

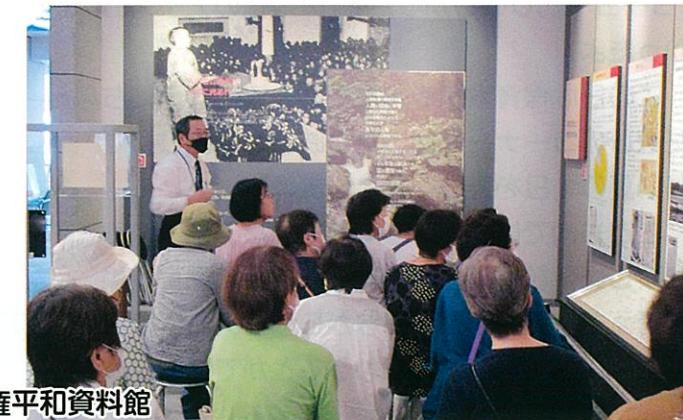
琴浦中学校区人権学習推進委員会 研修視察



令和6年9月6日(金) 9:00～15:45
視察先: ホロコースト記念館
福山市人権平和資料館

感想

ホロコースト記念館は、戦後50年の節目に開設された日本で最初のホロコースト教育センターです。ホロコーストの歴史を伝える資料や展示品の見学を通して、平和について深く学びました。また、福山市人権平和資料館では、戦時下の暮らしや部落の歴史と解放の歩みの見学を通して、人権の確立と恒久平和の実現の大切さを強く感じることができました。



福山市人権平和資料館

ホロコースト記念館での説明・見学を通して、ホロコーストの歴史を知り、平和の大切さや未来に継承しなければならないことを痛烈に感じました。また、研修視察全体を通して、自分自身が普段から人権のことをもっと意識する必要があるということに気付かせてくれたことが大きな収穫でした。

令和6年度 琴浦公民館 人権教育講演会

令和6年 9月 28日(土) 14:00 ~ 15:30

演題：「子どもの『つばさ』を奪わないために」

講師：一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ

代表理事 紀 奈那 様



参加者の感想

○深い内容の数々で、非常に心に残りました。子どもに関わる人間として、身の回りにそういった子どもが沢山いることに驚きましたし、辛い気持ちにもなりました。しかし、紀さんがすてきな支援活動をされていることが知れて、心が救われました。これからも子どもたちのために紀さんのお力を発揮してください。応援しております。



○今回の講演で、日本の子どもの貧困の割合の高さに驚きました。また、「つばさ」の活動についても初めて知りました。自分の子どもくらいの若い方々が、熱意をもって子どもやその家庭としっかり向き合って支援活動を行っていることに感動しました。私たちにできることをもう一度見直し、関わることを考えてみようと思いました。

園のようす

上の町保育園

ここで出会った 小さな友だち

自然に囲まれた園の中で、子どもたちは花や虫に触れたり栽培活動をしたりして、命の大切さを身をもって体験しています。先日、子どもたちが飼育していたザリガニに赤ちゃんが産されました。図鑑で調べたり、友だちと試行錯誤しながら世話をしたりする中で、お母さんのお腹に隠れてしまった赤ちゃんザリガニを見て「エサをあげたら出てしてくれるかな？」と工夫する姿が見られました。生まれたばかりのザリガニを大切にする経験を通じて、自分以外の存在を思いやる心が芽生えています。

保育園では、小さなつぶやきにも耳を傾けることで、子どもの好奇心や自発性を大切にし、豊かな成長を支えていきたいと考えています。



唐琴公民館

交流会をしているよ!

唐琴公民館では、年3回唐琴王子保育園との交流会を行っています。園児を公民館に招いて様々な交流をしています。

第1回 6月19日(水)

児島図書館の方を招いて、読み聞かせをしていただきました。その後、園児たちは本も借りました。毎年、楽しみにしてくれています。

第2回 10月16日(水)

人権推進委員の方が、手品作りをしました。園児たちがとても楽しい表情で活動している様子が印象的でした。

第3回 1月22日(水)

倉敷科学センターの方を招いて、科学実験を行いました。



第1回交流会（読み聞かせ）の様子



第2回交流会（手品作り）の様子